

募集します！
市民企画講座

応募期限
5月31日(日)

〔内 容〕
講座の企画を募集します。

- 市民を対象に男女平等・共同参画を啓発・普及するもの(特定の宗教や政治活動等に関わるもの、営利を目的とするものは除く)
- 1 講座約2時間で、1～3回程度
- 1 グループにつき1企画

支援内容：企画にかかる経費の一部、講師依頼等
実施期間：平成28年2月末日まで
対 象：市内在住か通勤、通学する人、また市内で活動する団体、グループ

応援します！
学習支援事業

応募期限
5月31日(日)

〔内 容〕
団体・グループ等が行う男女平等・共同参画への理解を深めるための講義や研修などを支援する。(特定の宗教や政治活動等に関わるもの、営利を目的とするものは除く)

支援内容：講師にかかる経費の一部、講師依頼等
支援回数：年度中1回
実施期間：平成28年2月末日まで
対 象：市内で活動する団体・グループ(県や市より運営補助を受けている団体、グループは除く)

平成27年度 男女平等推進センター活動登録団体を募集しています


センターに団体登録をされると、センターからの発信情報や他の登録団体との情報のやりとりがスムーズになります。また、無料で交流スペース(会議、学習用の部屋)の利用、ロッカーの使用等ができます。

登録要件

男女平等・共同参画の推進に関する活動を展開している(しようとする)団体、グループで、以下の要件を満たしていること

- 5人以上の構成員を有している
- 団体としての目的を有し、かつ計画に基づく事業を実施している
- 代表者が市内在住か、通勤・通学している
- 営利目的とする団体でない

- 登録は無料です。※審査あり
- 登録期間は1年です。年度途中の登録は当該年度末まで(随時受付～3月末)
※毎年2月に更新手続きがあります。
- 申込み用紙、申請書等はセンターにあります。ホームページからダウンロードもできます。



----- 高岡市男女平等推進センターの案内 -----

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。相談、講座等の開催、男女平等・共同参画を進めるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出し入れや情報誌の発行等による情報提供などを行っています。

※休館日
毎月第4月曜日・12月29日～翌年の1月3日

〒933-0023
富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
TEL (0766) 20-1810・FAX (0766) 20-1815
E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

<相談室>
専任相談員が、DV や生き方、夫婦の問題などいろいろな相談を受けています。
相談時間
月・火・水・金・土 9:30～16:30
木 14:00～20:00

相談室専用電話
(0766) 20-1811



高岡市男女平等推進センターだより

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
tel. (0766) 20-1810 fax. (0766) 20-1815
E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
HP: http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html

2015
4月1日 発行

第56号

ありて
mate
めいと

「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいます。



仕事と家庭の両立

株式会社フジタ 経 理・総 務
松 浦 利 枝

今回「男女共同参画」について原稿の依頼を受けた時、真っ先に思い浮かんだ事は、昨年受けた女性リーダー養成セミナーのことでした。私が勤める株式会社フジタでは、主に金属を工作機械等を使用して加工(金型製造)をする会社です。現場はこれまでほとんどが男性社員でしたが、近年は女性社員も増えてきました。会社内では人材育成に大変力を入れており、今回社長より「女性リーダーのセミナーが3日間新潟であるけど、どうですか?」と話がありました。その時は、自分が不在の時に仕事が滞ったりしないか? 更には 小さな子供達を残していく事に強い不安を感じました。

これからの時代、仕事や子育てを続けていくにおいて、『女性リーダーセミナー』というチャレンジの場はとても重要なものだと思います。ただ3日間も家を空けることに対しての不安は払拭出来ずにいました。その気持ちを

夫に伝えてみると「日々の事に追われる中で、そのような学ぶという事はとても大事な事なので、不安に思うかもしれないけれど迷わず頑張ってみたらどうか」と応援してくれました。仕事の事は自分がやりくりするとして、子供達の事は家族が協力してくれる事もあり、参加することが出来ました。

セミナーに参加して驚いたのが、私と同様に子供をもつ母親が何人も受講していたということです。仕事の事や子育ての事などいろいろな話ができて、セミナーはもちろんのこと女性の立場の働き方を聞いて、とても有意義に過ごすことができました。

このような経験をしたことで、他の女性社員にも、幅広い視点でいろいろな事にチャレンジしていただきたいと思います。